

平成25年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

工学部 情報工学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

プログラムとは、コンピュータに指示通りの動作をさせるための命令文の集合である。命令文には条件分岐、繰り返し、印字、計算などがある。

プログラム作成能力を見分けるために、Fizz-Buzz 問題というものが提案されている。以下の簡単なプログラムを 15 分以内に作成できるかどうかという問題である。

1 から 100 までの数字を印字するプログラムを書け。ただし 3 の倍数のときは数字の代わりに「Fizz」と、5 の倍数のときは「Buzz」と印字し、3 と 5 両方の倍数の場合には「FizzBuzz」と印字する。

これをプログラムに書けない人が多数いると言われている。

この問題を解けない人にとって、この問題の難しさはどこにあるのだろうか？ この問題を解くために必要な能力とは何か？ この問題が解けるようになるためにはどうすればよいか？ これらについて、800 字以上、1200 字以内で論じなさい。

平成25年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

工学部 情報工学科

出題の意図

情報工学科では、プログラミングに対する適性を重視している。この小論文では、プログラミング能力を直接問うのではなく、情報工学科のアドミッション・ポリシー（十分な基礎学力を有するとともに、これまで自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動してきた模範的な人）に基づき、問題を分析できるか、また物事を論理的かつ主体的に考えることができるかをみる。さらにプログラミングに必要な能力やそれを身に付ける方法に対する考えを問うことにより、プログラミングすることへの覚悟や知識の有無、情報分野の修学に対する積極性を図る。